







立が万場一致の賛同を得たが実現に至らなかつた経過もある。

その後中学校・高等学校の体育馆が整備されて市民のスポーツ活動が一段と盛んになつて来た中で「大体育馆」一つをつくるより地域毎に小体育馆を」の提言が再び坂田先生よりなされたのであつた。この提唱は昭和四十七年からの「コミュニティセンター」の建設となり、小林治助今井哲夫の市政に引継がれて昭和五十七年に17館目の建設が予定され、学校体育施設の一般開放と相まって要望は満たされた。